



レボドパ製剤を1日に何回飲んでいきますか？

1回

2回

3回

4回

5回

6回
以上

体の動きが悪くなる時間（オフ時間）が、1日何時間ありますか？

なし

1時間
未満1~2
時間2時間
以上

日常生活に支障のあるジスキネジアが、1日何時間ありますか？

なし

1時間
未満1~2
時間2時間
以上

※ジスキネジア：お薬が効き過ぎて、身体が勝手に動く症状



今のお薬の治療で、予測不能な運動症状の日内変動がありますか？

なし

あり



以下の動作の中で、介助が必要な動作（1人では満足にできない動作）はありますか？

入浴

着替え

トイレ

歩行

ベッドから
立ち上がる

朝、日中、夜の症状のレベルと、今後の希望について



朝

朝起きた時に
体が動かしづらい



全くない

極めてつらい



0

1

2

3

4

5



日中

仕事、家事が
うまくできない

0

1

2

3

4

5



夜

夜よく眠れない

0

1

2

3

4

5

ベッドで
寝返りが打てない

0

1

2

3

4

5



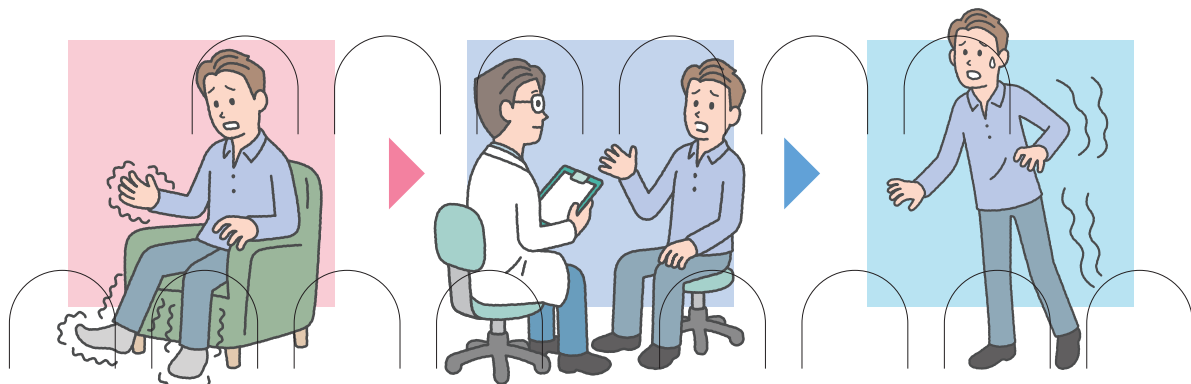
「こうなりたい!!」など
ご希望はありますか？

仕事の
継続1人で
家事1人で
通院旅行・
趣味を
楽しむぐっすり
眠れる夜の
トイレで
悩まない

■パーキンソン病の経過と、時期に適した治療

早期

進行期



パーキンソン病
発病

診断・治療開始

治療法の強化・
見直し

どんな治療もよく効く
ハネムーン期
(期間: 3~5年)

レボドパ製剤による
運動合併症

パーキンソン病治療を5~10年続けるうちに、
今までの治療法では日常生活の維持が難しくなる場合があります。

そのような場合にも、今のあなたの症状や今後の希望に合わせて、
治療の見直しを行うことが大切です。

お薬の服用回数や量、投与経路を調整したり、あるいは、
パーキンソン病においても機械を利用した
次のステップの治療法(デバイス療法)を
選択することも可能です。

どの治療法が今のあなたに適しているか、
話し合いながら決定していくために、

こちらの**コミュニケーションカード**を用いて、
あなたの症状と今後の希望を主治医にお聞かせください。



【参考】Fahn S.: Ann N Y Acad Sci. 2003; 991: 1-14

Kempster PA et al.: Brain. 2007; 130 (Pt 8): 2123-2128

柏原健十、武田篤、前田哲也、波田野 琢 著「みんなで学ぶパーキンソン病 (改訂第2版)」南江堂、2020、p21より作図